

# 築川ダム建設工事 堤体コンクリート初打設式を開催！



盛岡広域振興局土木部 築川ダム建設事務所

築川ダム建設（堤体工）工事では、これまで、ダム本体を施工するための基礎掘削工、ダムコンクリートを製造運搬する仮設備工などを進めてきました。

これらの工事が完了し、本格的にダム本体コンクリートの打設を開始することから、平成29年4月1日に「堤体コンクリート初打設式」を執り行いました。

今後も、一日も早い竣工を目指し、安全第一で工事を進めていきます。

## 【初打設とは】

- 本格的にダム本体のコンクリートを打ち込む「打設」作業を開始することです。築川ダム建設工事では、ダム本体打設用のコンクリートを現場内のバッチャープラントで製造します。

①バッチャープラント（原料を練り、コンクリートを製造）

②トランスファーク（製造したコンクリートをバケットに運搬し積み込む）

③バケット（ケーブルでつり下げて運搬し、コンクリートを流し込む）



製造したコンクリートをバケットに積み込み



初打設を祝して万歳三唱

## 【築川ダム建設事業】

- 事業目的** ・洪水調節 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水 ・水力発電
- ダム計画諸元** ・堤高：77.2m（県営2位） ・堤頂長：249.0m  
・堤体積：22万8千m<sup>3</sup> ・総貯水量：1,910万m<sup>3</sup>（県営最大）
- 事業期間** 平成4年度 から 平成32年度 まで（予定）



打設前のモルタル敷均し

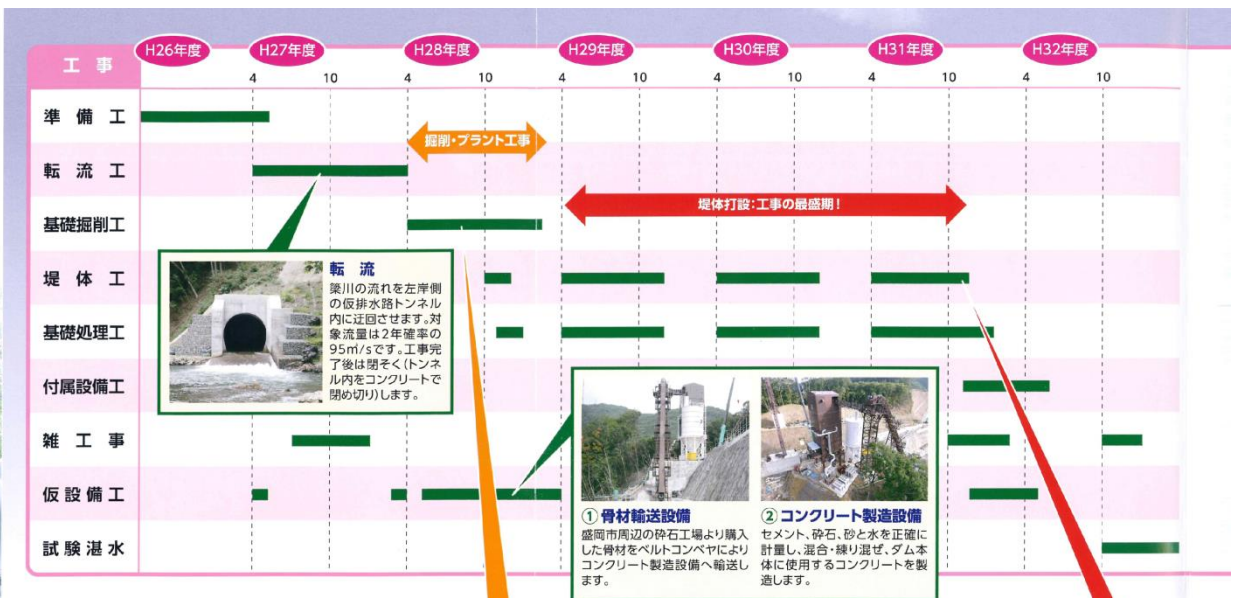


内部振動機による締固め

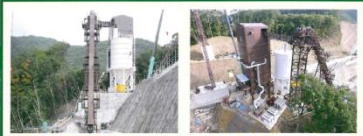


夜間打設状況

工程・スケジュール



**転流**  
築川の流れを左岸側の仮排水路トンネル内に迂回させます。対象流量は2年確率の95m³/sです。工事完了後は閉そく(トンネル内をコンクリートで閉め切り)します。



**① 骨材輸送設備**  
盛岡市周辺の碎石工場より購入した骨材をベルトコンベヤによりコンクリート製造設備へ輸送します。

**② コンクリート製造設備**  
セメント、砕石、砂と水を正確に計量し、混合・練り混ぜ、ダム本体に使用するコンクリートを製造します。



**① リッパ発掘**  
岩盤の割れ目にブルドーザに装着した鉄の爪(リッパ)を引っかけて岩盤を掘り起こします。

**② 発破**  
硬い岩盤はクローラドリルで掘孔した穴に、爆薬を詰めて発破して、岩盤を砕くことにより掘り起こします。

**③ 積込み・運搬**  
大型重機(バックホウ)で10tダンプに積み込み、旧県道～一般道を走行して、土捨て場まで運搬します。



**① 岩盤面処理**  
ダム本体に直接、接する箇所の岩盤は、不良岩(浮石・砂・粘土)を丁寧に除去して、きれいに清掃します。

**② 型枠**  
ダムの上下流面は、クレーンを使用して移動・設置するスライドフォーム(足場付きの大型型枠)を使用します。

**③ ダムコンクリート**  
ダムのコンクリートは、大型重機に装着した内部振動機(φ130mm)を使用して締め固めます。岩盤隙や型枠隙等の狭い箇所は、人力にて丁寧に締め固めます。

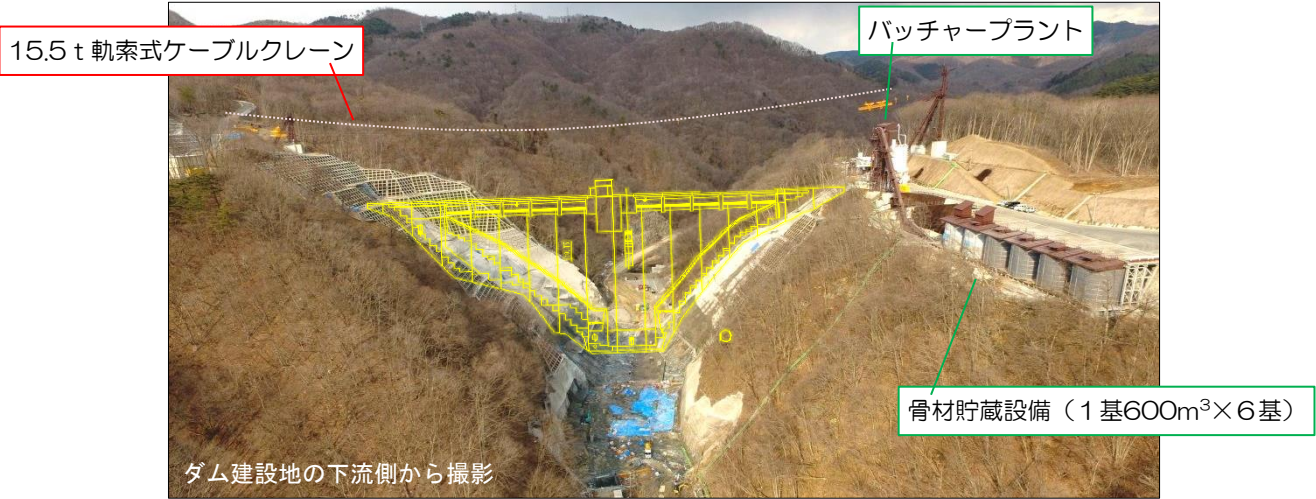
**④ ケーブルクレーン**  
ダムを建設する谷をまたぐように、クレーン付きのケーブルを設置して、バケット(4.5m)に入れたコンクリートを、運搬します。

**⑤ トランスファーク**  
コンクリート製造設備で製造されたコンクリートをケーブルクレーンのバケットまで運搬します。

**⑥ バケット**

【築川ダムのコンクリート打設計画概要】

今後3年をかけて、コンクリートを約23万m³打設します。運搬には、コンクリートが4.5m³入るバケットを使います。バケットは、兩岸に渡したケーブル上のクレーンで吊り上げて、打設場所の上まで移動させます。なお、品質確保のため、気温が低くなる冬期間の打設は極力行いません。



築川ダム建設事務所では  
工事現場見学会を  
随時開催しています！



ご興味をお持ちの方は、お電話、ファクス、メールなどで、  
お気軽に築川ダム建設事務所までお問い合わせください。

- 電話番号：019-652-8821
  - ファクス番号：019-652-8822
  - メール：[BA0011@pref.iwate.jp](mailto:BA0011@pref.iwate.jp)
  - ホームページ：岩手県公式HP
- [やながわダム] で検索